

式 辞

穏やかな春の日差しの中、木々が芽吹き、春の香りが満ちあふれる今日のよき日に、令和三年度の入学式を挙行できますことを、教職員一同、心から感謝しております。

さて、二七〇名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心待ちにしておりました。今日からは、歴史と伝統あるこの旭中学校の一年生です。校長先生もこの四月から旭中学校に赴任しました。三月までは、すぐ近くの旭小学校の校長でした。新入生の中の旭小学校出身の皆さんは、三月に小学校の卒業証書を渡したばかりなので、少し変な気分かもしれませぬね。

皆さんが小学校生活の最後を過ごした二〇二〇年は、世界にとっても、日本にとっても、学校にとつ

ても激動の一年になりました。皆さんが六年生として初めて登校した日から再び休校が延長となり、学校が始まったのは五月の終わりでした。再開された学校生活にも様々な制限が設けられ、行事も中止になったり、縮小されたりしました。今年になってもこの新型コロナウイルスの感染拡大は、収まる気配をみせていません。これから始まる中学校生活においても、引き続き様々な制限があることが予想されます。しかし、この激動の時に経験したことは、皆さんがこれから成長して大人になる上で、きつと大切な糧になるはずです。できないことを悲しむのではなく、やれることに全力で取り組み、地道に努力を続ける姿勢を忘れないでください。

旭中学校の教育目標は「凡事徹底　そして自律・貢献へ」です。当たり前前のことを当たり前前に行うことができる生徒、自分で気づき、考え、人のために主体的に行動できる生徒になることを目指しています。

す。この目標をこの入学式の日にも、胸に刻んでください。

皆さんは、これからの三年間でいろいろなことに挑戦し、数多くの壁を乗り越えていかななくてはなりません。きっと上手いかずに悩んだり、立ち止まったりすることもあるでしょう。しかし、そんな時は、自分一人で抱え込まず、旭中学校の先生や二年生、三年生の先輩たちに相談してください。皆さんは今日から旭中学校というチームの一員です。「チーム旭中」は皆さんのことを応援し続けます。人はそれぞれ「個性」という種を持っています。その種は人によって様々です。中学校生活の経験でその種を大きく育て、「夢」という世界に一つだけの自分の花を咲かせてください。

さて、保護者の皆さま、改めまして、お子さまの中学校ご入学おめでとうございます。本日より、旭中学校の生徒としてお子さまをお預かりいたします。

思春期を迎える子どもたちにとって中学校生活は、将来、しつかりとした社会人になるための準備期間でもあります。保護者の皆さまと緊密な連携を保ちながら、生徒一人ひとりを大切にして教育活動を充実させてまいりたいと思っております。保護者の皆さまも「チーム旭中」の一員として、お子さまのよき相談相手になってください。

結びになりますが、本日までご臨席を賜うことはできませんでしたが、今後、子どもたちの健やかな成長にお力添えをいただく尾張旭市教育委員会、ならびに地域の皆さま方に、本校の教育活動に変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます、式辞といたします。

令和三年四月七日

尾張旭市立旭中学校長

浅野 謙一